

平成17年1月11日

教育研修の横断的システムの確立

1. 教育研修の目的

会社を取り巻く社会や業界の変化に対応でき、先取りのできる人材を育成する

2. 研修体系

- (1) 階層別研修
- (2) 職能別研修
- (3) OJT

3. 教育目標

(1) 階層別研修：部門を越えたヨコ割りの研修とする

① 新入社員

- ・ 会社の目的を正しく理解する
- ・ 会社の概要を知る
- ・ 会社の規則、規定を理解する
- ・ 仕事の仕組み、基本を習得する

② 一般社員（7～9級）

- ・ 仕事の流れの中で自分の役割を認識する
- ・ より良く仕事を進めていくための技能を習得する
- ・ 後輩に対する指導・方法を習得する

③ 中堅社員（4～6級）

- ・ 中堅社員としての立場、役割を理解する
- ・ 役割を果たすために必要な能力を養成する
- ・ 次期リーダーとしての啓発目標を見いだす

④ 管理者（1～3級）

- ・ 管理者としての基本的な役割を果たす
- ・ 組織目標を達成
- ・ 管理能力の向上
- ・ 戦略的視点を身に付ける

(2) 職能別研修：各部門の仕事に合わせた研修とする

① 営業系

- ・ 最大の効果を発揮できるセールス・スキルの習得

② 業務系

- ・ 会社の目標、方針を理解し、仕事の効率化・生産性の向上を図るために必要な知識の習得

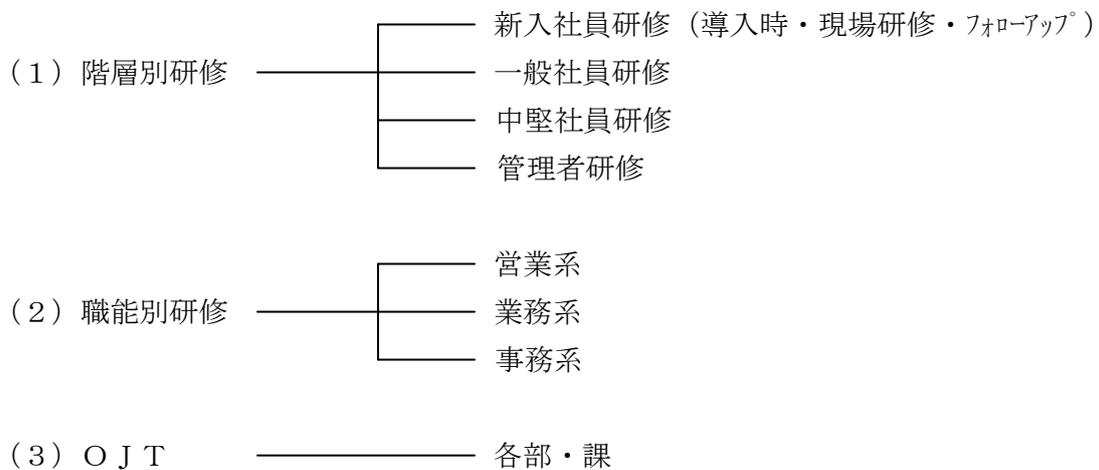
③ 事務系

- ・ 会社としての基本的なルールづくりを進める上での専門知識の習得

(3) O J T：日常の仕事を通して上司（または先輩）が部下（または後輩）に対し、仕事に必要な知識・技能・態度を指導、育成する

- ※ 担当している職務についての問題や課題については、その当事者自身が解決していけるようにする

4. 教育計画



<課題>

- ① 研修ごとに必要な研修プログラム
- ② 教育の時期と時間
- ③ インストラクターの選任
- ④ 教材の選定